

経営比較分析表（平成29年度決算）

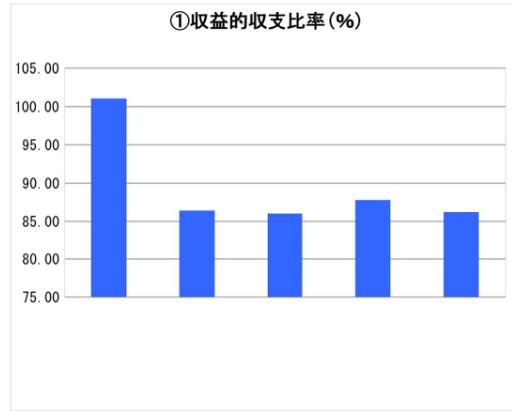
千葉県 袖ヶ浦市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	67.20	89.45	2,301

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
62,897	94.93	662.56
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
42,504	9.62	4,418.30

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[]	平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



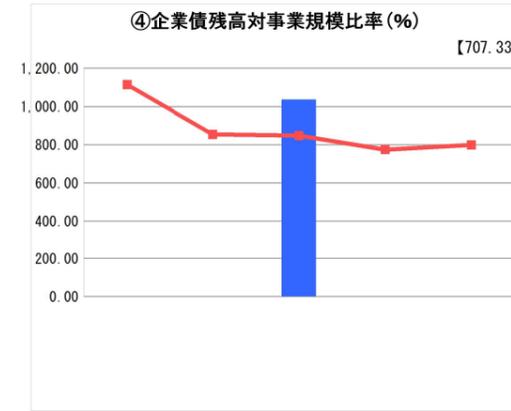
「単年度の収支」



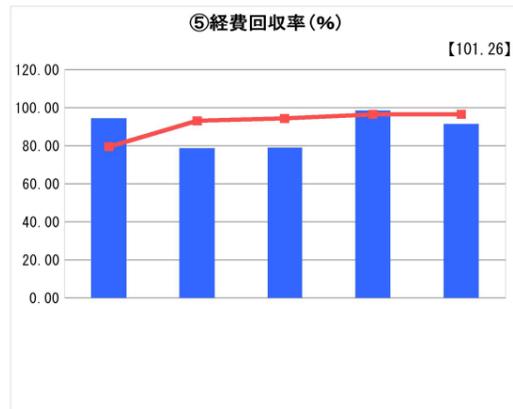
「累積欠損」



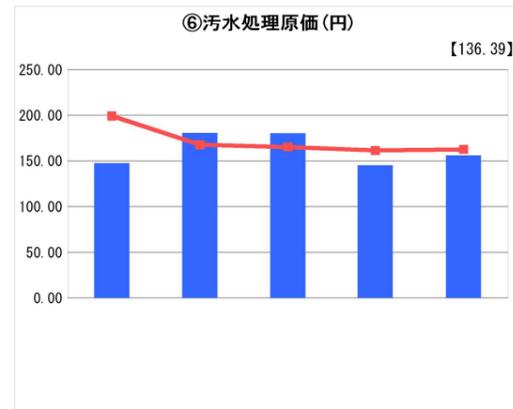
「支払能力」



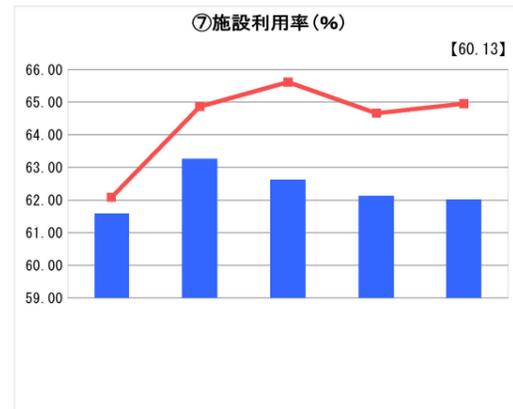
「債務残高」



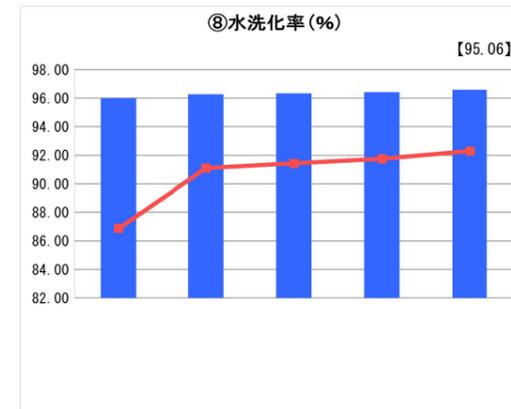
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

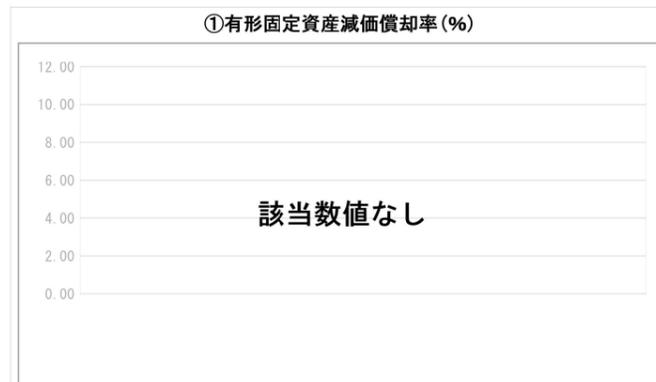


「施設の効率性」

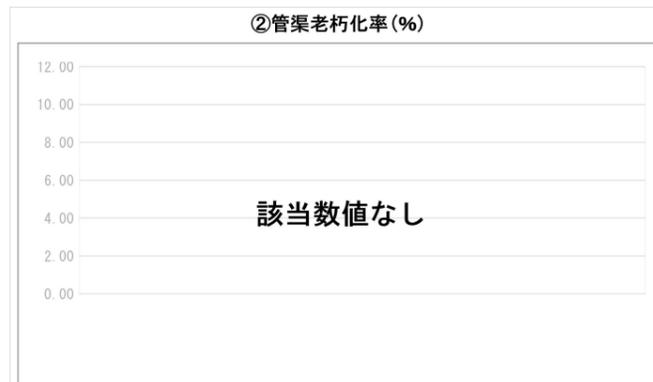


「使用料対象の捕捉」

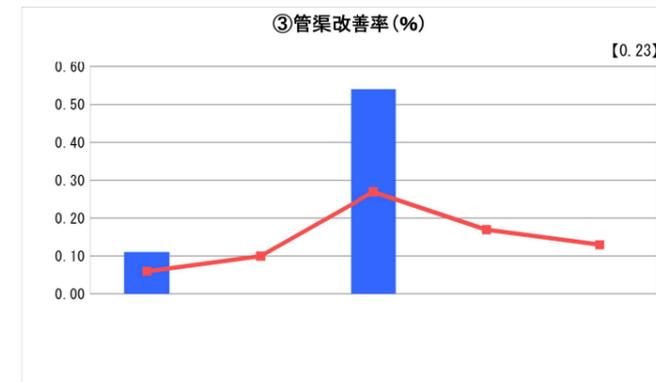
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率については、平成23年度に料金改定を実施後は上昇し、25年度に100%を超えました。26年度からは一般会計繰入金を減額するために資本費平準化債の借入を実施したため、数値が減少しています。

企業債残高は、5年間で14億7千万円減少しており、29年度末では59億4千万円になっています。

経費回収率については、分流式下水道に要する経費の算定方法の見直しにより、29年度の数値は前年に比べ減少しています。

汚水処理原価については平均よりも良好な数値となっており、費用の削減を行ってきた成果と考えます。

施設利用率については、類似団体平均値を下回っています。処理場の運転方法を汚水量に見合ったものに検討する必要があります。

水洗化率はわずかですが増加しています。今後も水洗化PRに努めます。

2. 老朽化の状況について

耐用年数を超えている管はありませんが、今後の更新時代を迎える前に、ストックマネジメント等を作成し、適切な資産管理を行います。

全体総括

袖ヶ浦市の公共下水道会計の経営状況は、比較的良好な水準であると考えます。今後も袖ヶ浦海側地区や椎の森工業団地2期地区の開発等により、一時的な料金収入の増収は見込めますが、近年の節水意識の向上や節水機器の普及により将来的には料金収入の減少が予想されます。

このため、今後も更なる経費の削減等に努め、安定した事業の運営に努めてまいります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。